

シートベルトの着用状況の調査結果！

警察庁と社団法人日本自動車連盟（JAF）は、10月1日から10日までの間に調査したシートベルト着用状況の結果を発表しました。

全国におけるシートベルトの着用率は、**一般道路の運転席が98.6%**（前年98.5%）、**高速道路の運転席が99.5%**（前年99.5%）、**助手席も共に90%を超える**高い着用率でした。一方、後部座席のシートベルト着用率は、**一般道路が36.4%**、**高速道路が74.4%**で、特に一般道路の後部座席の着用率が低い結果となりました。

【滋賀県の結果】は下表の通りです。

一般道路	区分		運転席		助手席		後部座席	
	平成29年	滋賀県	98.0%	全国 38 位	94.2%	全国 34 位	44.6%	全国 9 位
	全国平均	98.6%		95.2%		36.4%		
平成28年	滋賀県	98.0%	全国 39 位	92.5%	全国 42 位	44.6%	全国 9 位	
	全国平均	98.5%		94.9%		36.0%		
	平成 29 年全国 1 位		99.7%	岩手県、島根県 長崎県	98.3%	岩手県	57.2%	群馬県
高速道路	区分		運転席		助手席		後部座席	
	平成29年	滋賀県	99.9%	全国 10 位	99.6%	全国 8 位	81.6%	全国 17 位
		全国平均	99.5%		98.3%		74.4%	
	平成28年	滋賀県	100%	全国 1 位	98.6%	全国 21 位	84.8%	全国 5 位
		全国平均	99.5%		98.0%		71.8%	
	平成 29 年全国 1 位		100%	北海道、青森県 岩手県、宮城県 福島県、秋田県 島根県、宮崎県 鹿児島県	100%	青森県、岩手県 宮城県、福島県 秋田県、富山県	93.2%	秋田県

滋賀県の一般道路でのシートベルト着用率は、運転席・助手席とも全国平均を下回っています。後部座席は全国平均を上回っていますが、50%に満たないほど低い着用率です。高速道路においては、運転席・助手席は99%以上の着用率ですが、後部座席は80%程度の着用率となります。

平成29年中の交通事故死者は55人ですが、そのうち自動車乗用中の死者は21人で、うち11人（52.4%）がシートベルト非着用でした。また、非着用の11人のうち9人（81.8%）は、シートベルトを着用していれば助かった可能性があります。



シートベルトを着用することにより、交通事故に遭ったときに命が助かる可能性がとても高くなります。車に乗るときは必ずシートベルトをして下さい。